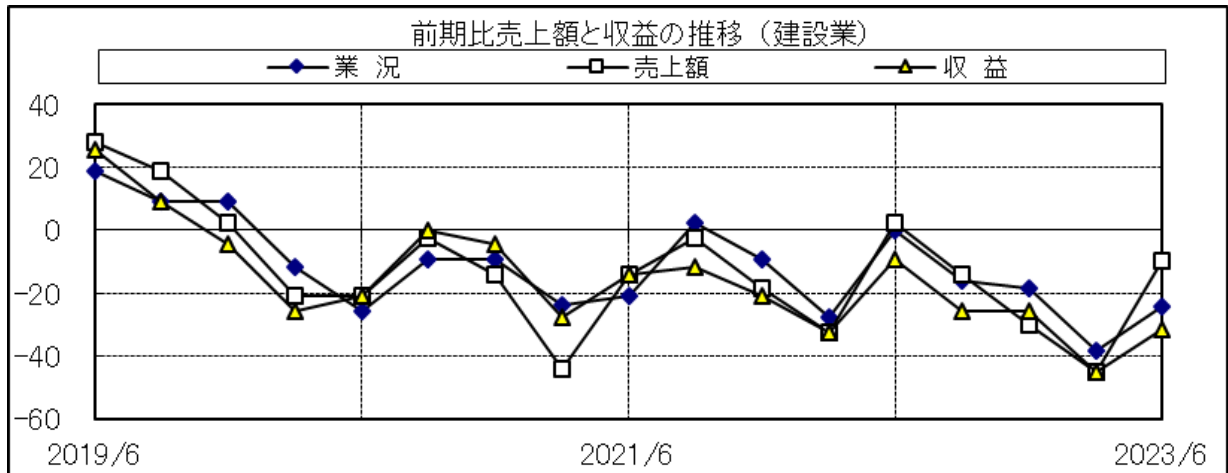


# 建設業 41 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

## □ 景 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-18.7	-38.2	-24.4	-14.6
売上額	-30.2	-45.2	-9.8	9.8
収 益	-25.6	-45.3	-31.7	-14.7

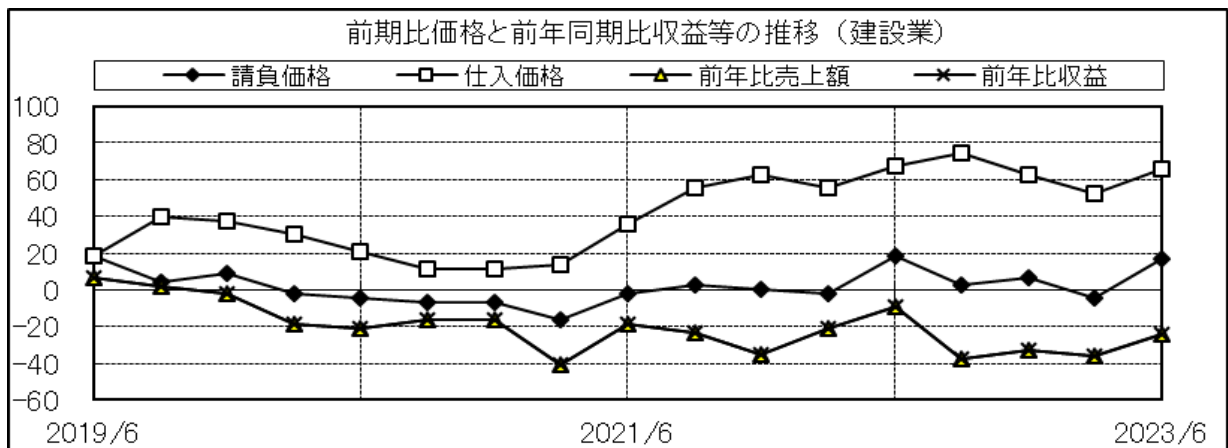
今期の業況判断 D. I. は△24.4 で、前期比 13.8 ポイント上昇、前年(△0.1)比では 24.3 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、静内が最も高く、次にえりも、三石・様似が同率、浦河と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、△9.8 で、前期比 35.4 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△31.7 で、前期比 13.6 ポイント上昇した。



## □ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
請負価格	6.9	-4.8	17.0	17.1
仕入価格	62.7	52.4	65.9	68.3

請負価格判断 D. I. は 17.0 で、前期比 21.8 ポイント上昇、前年(18.5)比では 1.5 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 65.9 で、前期比 13.5 ポイント上昇、前年(67.5)比では 1.6 ポイント下降した。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-4.6	-4.8	-19.6	-7.3
人手状況	-30.2	-28.6	-48.8	-36.6

残業時間判断 D. I. は△19.6 で、前期比 14.8 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△48.8 で、前期比 20.2 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

## □ 設備投資の動き

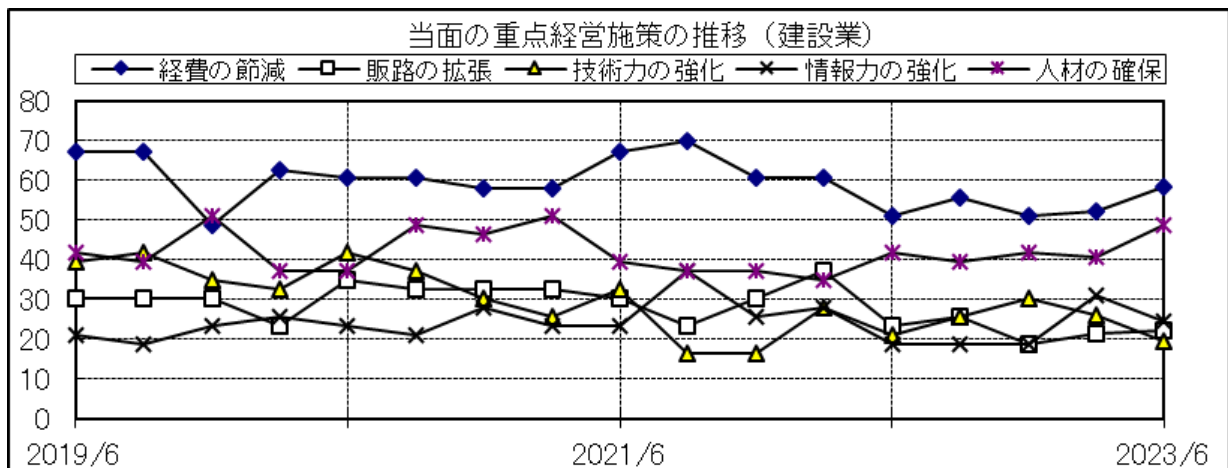
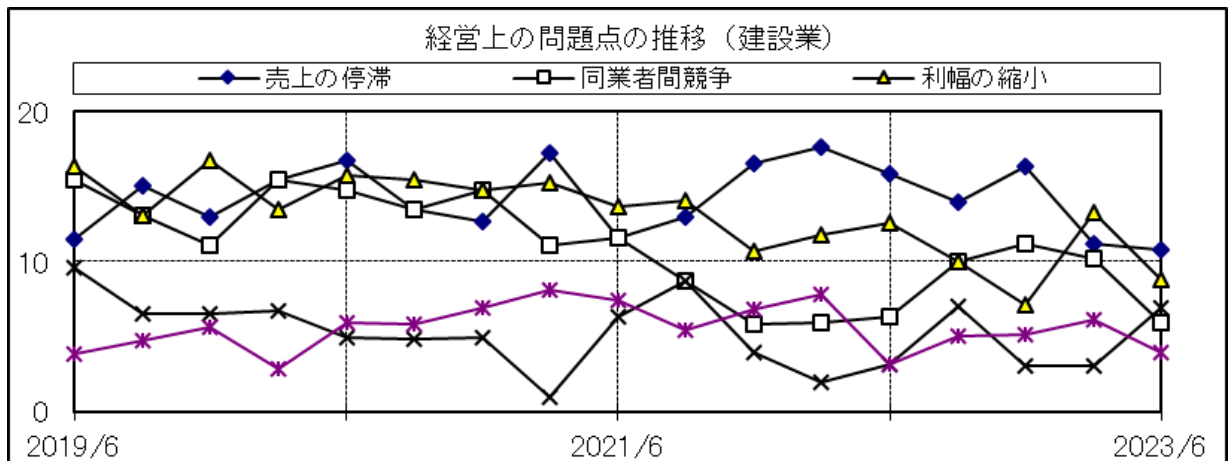
設備投資の充足感を示すD. I. は0.0で、前期(0.1)比0.1ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は17.1で、前期(14.3)比2.8ポイント上昇した。設備投資は、前期6社に対し、7社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が23.5%と最も多く、次に「人手不足」20.6%、「売上停滞減少」10.8%、「利幅縮小」8.8%、「下請確保難」7.8%、「人件費増加」6.9%、「同業者競合」5.9%、「技術力不足」・「地場産業衰退」が3.9%、「大手企業競合」・「天候不順」が2.9%、「諸経費増加」2.0%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が58.5%と最も多く、次に「人材確保」48.8%、「情報力強化」24.4%、「販路拡大」22.0%、「技術力強化」19.5%、「教育訓練強化」7.3%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△14.6と、今期比9.8ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は9.8と、今期比19.6ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△14.7と、今期比17.0ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は17.1と、今期比0.1ポイントの上昇を見通している。

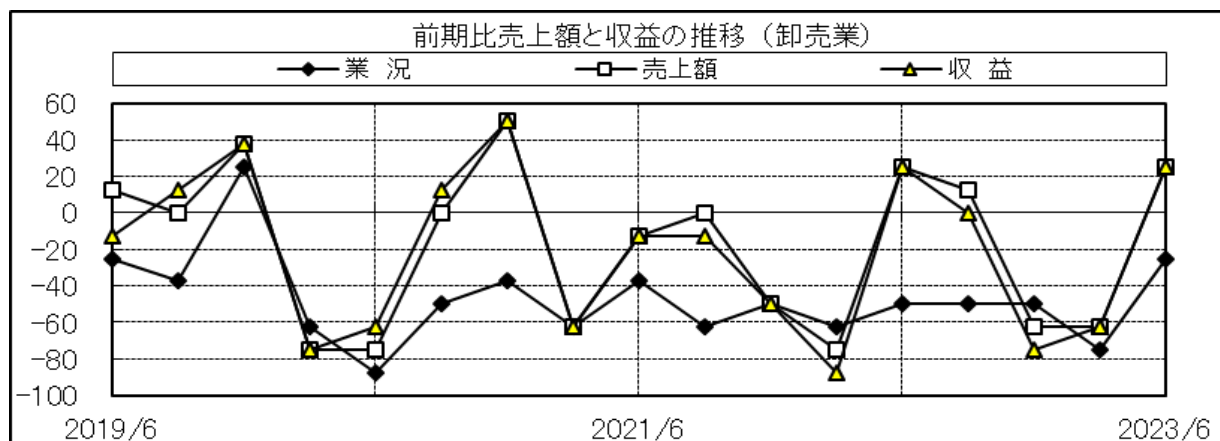
予想仕入価格判断D. I. は68.3と、今期比2.4ポイントの上昇を見通している。

## 卸売業 8企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業況	-50.0	-75.0	-25.0	-37.5
売上額	-62.5	-62.5	25.0	12.5
収益	-75.0	-62.5	25.0	12.5

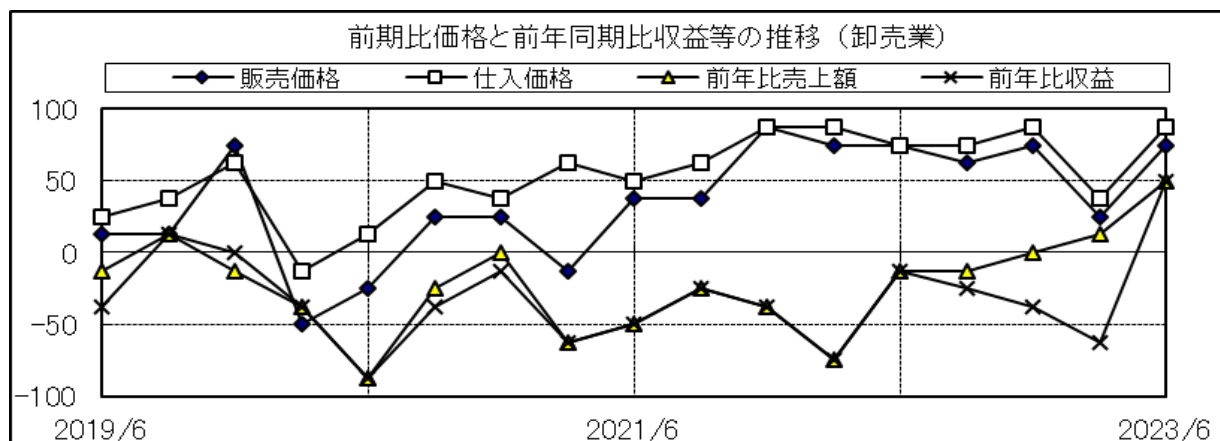
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 25.0$ で、前期比 50.0 ポイント上昇、前年 ( $\Delta 50.0$ ) 比では 25.0 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は、浦河地区、静内地区、様似地区ともに上昇した。売上額判断 D. I. は 25.0 で、前期比 87.5 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は 25.0 で、前期比 87.5 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	75.0	25.0	75.0	25.0
仕入価格	87.5	37.5	87.5	12.5

販売価格判断 D. I. は 75.0 で、前期比 50.0 ポイント上昇、前年 (75.0) と同水準となった。仕入価格判断 D. I. は 87.5 で、前期比 50.0 ポイント上昇、前年 (75.0) 比では 12.5 ポイント上昇した。業種別では、水産業は、販売・仕入価格ともに上昇、食品業は、同横這いとなった。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	0.0	0.0	0.0	-12.5
人手状況	0.0	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、残業時間に変化は無かった。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、人手不足感に変化は無かった。

## □ 設備投資の動き

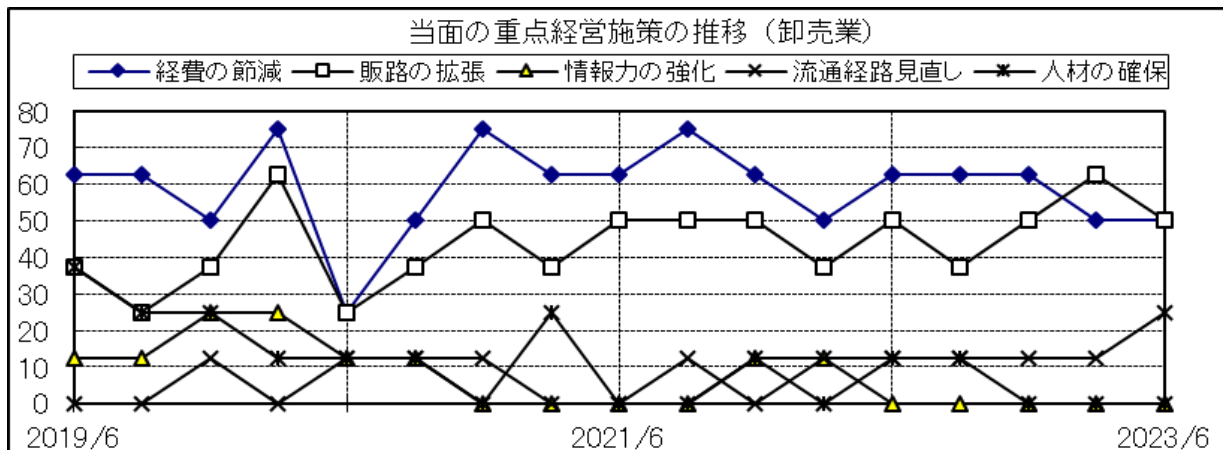
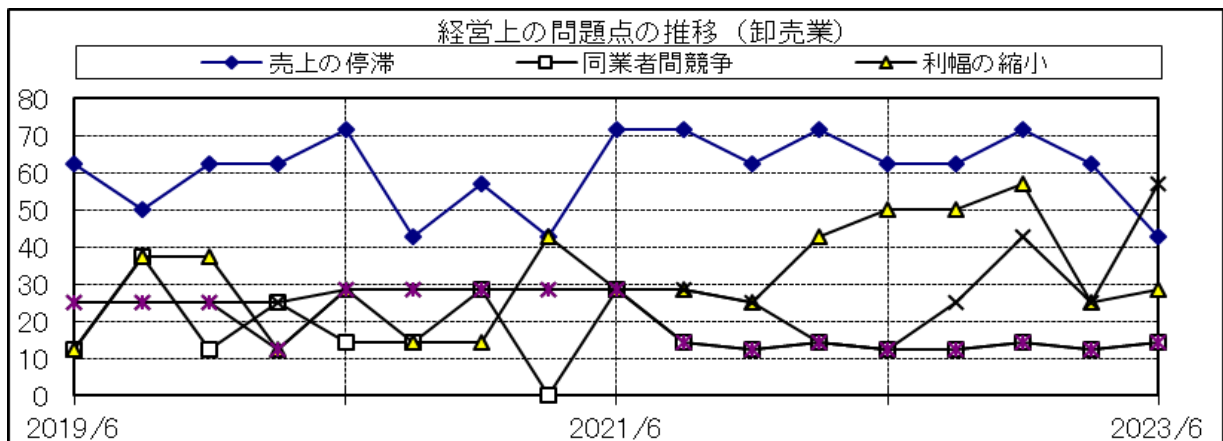
設備投資の充足感を示すD. I. は△12.5で、前期(0.0)比12.5ポイント下降した。

設備実施企業割合は0.0で、前期(12.5)比12.5ポイント下降した。設備投資は、前期1社に対し、実施した企業はなかった。来期の設備投資予定は1社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「取引先減少」が57.1%と最も多く、次に「売上停滞減少」・「値上要請」が42.9%、「利幅縮小」・「販売商品不足」・「人件費増加」が28.6%、「同業者競合」・「天候不順」・「地場産業衰退」・「為替レート変動」が14.3%となっている。

重点経営施策では、「販路拡大」・「経費節減」が50.0%と最も多く、次に「新事業開始」・「流通経路見直し」・「不動産有効活用」が25.0%、「品揃えの充実」・「取引先支援」が12.5%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△37.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は12.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は12.5と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は25.0と、今期比50.0ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は12.5と、今期比75.0ポイントの下降を見通している。